

ーレディヒートをお使いになる上で、ご注意いただきたい点ー

○ 使用量とコスト

レディヒート 1 缶(15kg)を水 40L に希釈します。屋根面積 1 反に 3 缶(45kg)から 2 缶(30kg)を吹付けます。初回は 3 缶をお勧めします。光質改善の効果を出すには一定の被膜厚が必要で、被膜厚が薄いと十分な効果がありません。特に勾配のきつい屋根型ハウスの屋根面積は、土地面積の 1.1 倍～1.4 倍になります。1 缶約 3 万円です。1 反当り 2～3 缶で 4～5 ヶ月効果とすると、1 ヶ月約 1 万 2 千円～1 万 8 千円で高温障害や徒長を予防できます。

○ 吹付けを行う日の天気

レディヒートは乾くまでに 3 時間位かかります。必ず晴天の昼までに吹付け作業をしてください。結露している朝方、夕方、曇天や湿度の高い日は、乾くまで時間がかかります。被膜厚がハウス上部と下部で不均一になり、被膜が厚過ぎてぽろぽろはがれることがあります。被膜は「薄すぎず、厚すぎず」がポイントです。

↓底に溜まった高価な主成分

○ 希釈のポイント

レディヒートは沈殿しやすいので、缶底もしっかりかき回してから水に流し込みます。(手を入れ底がつるつるになるまでかき取り、混ぜれば、液体がキラキラした状態になります。こうしてから希釈、吹付けると後の仕上がりが違います。)最後は缶の中を洗いつつ希釈液に混ぜます。吹付け中も沈殿しやすいので、希釈液を常時攪拌してください。



○ 吹付けのポイント

鉄砲型、スズラン型、飛散防止ノズル等で、粒の大きい霧雨状にしドリフトしないよう動噴で吹付けます。一度全体に吹付け後、特に日射の強い部分に再度吹き付けると効果的で、全体から散乱光が入り、片側のみの吹付け



より作物に光がよく当たります。最後は動噴の吸込み口をキレイな水につけホースの中の希釈液を使い切り作業終了です。風の強い日は流れやすく規定量が付着しないので作業は控え、またハウスにほこり・砂等がたまった上に吹付けた場合、成分がしっかり

フィルムに付着せず、後日の雨ですぐ取れることがあるので、きれいな面に吹付けてます。

○ 主成分について

レディヒート主成分は鉱物由来の透明な粒子なので、吹付けても半透明です。付着成分はレディソールと同じく生分解性なので、用水路等に流れても問題ありません。尚、ポジティブリストの対象農薬は含まれていません。

○ R/FR 比(赤色光/遠赤色光比)とは

太陽光線の赤い光には赤色光と遠赤色光とあります。これらの透過率比は約 1.1 ですが、レディヒート透過光は 1.1 以上です。これは植物の葉を厚く、茎を太く、徒長を押さえます。通常よい結果を生みますが、お客様が作物を徒長させたい場合は、逆効果になることもありますので、よくご確認ください。レディヒートを使用し、作物に問題が起こりそうな場合は、すぐに除去してください。

○ 被覆資材およびハチへの影響

被覆資材への耐用年数への影響は、特にありません。逆に何も被覆しないと晴天時、パイプの高温でフィルムとの接触面が劣化しやすくなります。レディヒートを吹付け、パイプの高温を防ぎ被覆資材を大切にお使い下さい。また、紫外線を多少カットしますが、ミツバチ、マルハナバチの活動にはほとんど影響ありません。

○ 付着期間について

約 4～5 ヶ月効果が続く見込みですが、天候や降雨量により耐久性は前後します。除去したい場合は除去剤レディクリーンで除去してください。

○ 保管方法について

半分使用して残りを保管したい場合、ビニールテープなどでふたを密封すれば、翌年まで保管できます。但し、よく攪拌して成分を均一にしてから、半分ご使用下さい。また、希釈液は保管せず、すぐにお使い下さい。

ご注文・問い合わせ先: マルデンクロージャパン株式会社 お客様センター 0120-147-578